

MOVE

Press Information
2010.12.13



DAIHATSU

FROM THE CHIEF ENGINEER

ガソリン車No.1^{*1}の低燃費を達成し、さらに、すべてを高次元で結実。
スペース系軽自動車の次世代スタンダードをめざしました。

ダイハツの基幹車種である「ムーヴ」は、1995年の誕生以来、そのDNAである「広々快適な室内空間」「使い勝手のよさ」「ハイクオリティなデザイン」といったマルチな性能に幅広いユーザーからご好評をいただき、さらに、常に新たなステージに進化しつづけることで、軽自動車市場をリードしてまいりました。

近年、省エネ意識の高まりや不透明な経済情勢を背景に、スモールカーへのダウンサイジングが拡大。
加えて、エコカー減税やハイブリッド車の低価格化により、お客様の環境意識が一段と高まる中、
求められる環境性能もますます高くなってきています。

5代目となる今回の開発では、まさに今の時流をとらえ、燃費性能を徹底追求したうえで、
ご好評いただいている広さや使い勝手、快適性、基本性能・安全性能など、すべてにおいて高次元に
バランスのとれた「スペース系軽自動車の次世代スタンダード」をめざしました。

要とした燃費性能については、エネルギー効率を徹底的に追求。世界初^{*2}のi-EGRシステム、
国内初^{*2}の樹脂製電子スロットルボディによるCVTとの協調制御を採用した「第2世代KFエンジン」や、
軽量・コンパクト化を図った新アイドリングストップシステム「eco IDLE」^{*3}を採用。
約35kg^{*4}もの軽量化とあわせ、ガソリン車トップ^{*1}の27.0km/ℓ^{*5}を達成しました。
「ecoドライブモード」^{*6}などの採用で、実用段階での燃費向上にも配慮しています。

使い勝手・快適性では、軽初^{*2}の「nanoe（ナノイー）」ディフューザー^{*7}やオート格納式ドアミラー^{*8}
のほか、バックモニター付メモリーナビゲーション^{*9}など最新装備を採用。ムーヴの特長である
広い室内には、大容量深底ラゲージアンダーボックスや、荷室からも操作できるリヤシートスライドを
新たに採用し、利便性を一層向上。静粛性や乗り心地も磨き上げ、日常ユースはもちろん、レジャー・
旅行など多彩なシーンで、どなたにも安心・快適にお乗りいただけるクルマとしました。

さらに、デザイン面では、広さを演出する洗練されたインテリアを、躍動的でスタイリッシュなモノフォルム
シルエットで包み込みました。ムーヴ カスタムでは先進性・プレミアム感を際立たせるとともに上級装備を
数々採用し、高い質感を実現しています。

軽自動車の新しい未来を切り拓く存在として、高い志と技術を注ぎ、進化を重ねてきた「ムーヴ」と
「ムーヴ カスタム」。新型も、誇りを持って送り出せるクルマに仕上げられたと自負しております。
多くの方々にご愛用いただくことで、私たちダイハツが理想とする「環境に優しいスモールカーの
普及による、地球との共生」にもつながれば幸いです。

※1:2010年12月13日現在。ハイブリッド車除く。ダイハツ調べ。 ※2:2010年12月13日現在。ダイハツ調べ。 ※3:X・X Limited[®]、カスタムGに標準装備。 ※4:従来型ムーヴ比。ダイハツ調べ。 ※5:10・15モード走行燃費(国土交通省審査値)。X・X Limited[®]、カスタムGの2WD車。 ※6:X・X Limited[®]、カスタムG、カスタムRSに標準装備。
※7:X Limited[®]に標準装備。カスタム全車にメーカーオプション。「nanoe」「ナノイー」はパナソニック電工(株)の商標です。 ※8:Lを除く全車に標準装備。 ※9:X Limited[®]、
カスタムX Limited[®]に標準装備。カスタムG、カスタムRSにメーカーオプション。



PROFILE

軽製品企画部 チーフエンジニア 須藤 秀彦

1982年ダイハツ工業(株)入社。
ボデー設計部にて、内装部品開発業務を担当後、
1999年から、製品企画部にてMAX、ミラ、ムーヴ、ミラココアなどを担当。
2008年から新型ムーヴの開発責任者になる。

1995年、初代ムーヴ誕生



1995年 1st

- 1,500mm以下の全高が主流の軽市場において、1,600mmを超える全高による広さと利便性を持つ、マルチなクルマとして誕生。
- 1997年にカスタムシリーズを投入し、さらに多様なニーズに対応。
- 月販目標台数(6,000台)を大きく上回る、月販平均13,000台^{*10}を記録し、軽スペース系市場を確立。



2002年 3rd

- 他社に先駆け、4年でのフルモデルチェンジを実施。
- プラットフォームを一新し、クラストップの圧倒的な広々空間を実現。
- 2002年度、軽車名別販売台数NO.1^{*10}を獲得。

1998年 2nd



- 軽新規格施行を受け、プラットフォームを新開発。安全・品質面を飛躍的に向上させ、軽自動車全体の品質を底上げ。
- 月販平均約15,000台^{*10}を記録し、軽自動車市場拡大に貢献(180万台市場へ^{*10})

2006年 4th



- プラットフォームからエンジンまで全身一新。CVTも搭載。同年、軽市場過去最高200万台^{*10}突破を牽引。
- 広さ／使い勝手／安全性／基本性能など、あらゆる面がクラスを超えた新次元への進化。
- 2007年、ムーヴシリーズ最多年間販売台数を記録(210,425台^{*10})し、ダイハツ軽シェアNo.1^{*10}に貢献。

スペース系軽乗用車市場を確立し、軽自動車市場を牽引

企画の背景

- スモールカーへのダウンサイジングの拡大
- エコカー減税^{*11}・ハイブリッド車の低価格化により、環境意識がさらに高まり、より優れた環境性能へのニーズが拡大
- ライフスタイルや価値観の多様化。少子・高齢化社会の進展
- 軽自動車ユーザーの行動範囲の広がり(パーソナル・日常ユースはもちろん、ファミリー・レジャーユースでも積極的に活用)

低燃費を軸にあらゆる面が、さらに進化
スペース系軽乗用車の次世代スタンダードへ

ガソリン車トップ^{*1}の低燃費
NA全車エコカー減税^{*11}に適合



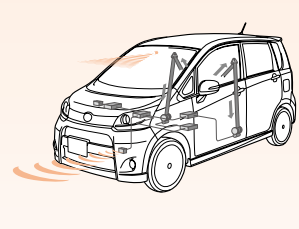
あらゆる利用シーンでゆとりを
もたらし、優れた快適・便利性能



躍動感あるエクステリアと
洗練されたインテリア



先進のアクティブセーフティに
よる優れた安全性能



MOVE

スマート&スタイリッシュ



MOVE
CUSTOM

アドバンス&プレミアム

ECOLOGY & PERFORMANCE

「eco IDLE(エコアイドル)」の採用や、新開発「第2世代KFエンジン」の搭載、約35kg^{*4}の軽量化、走行抵抗の低減などにより、ガソリン車トップ^{*1}の低燃費を実現。NA車は全車エコカー減税^{*3}の75%軽減に適合しています。

ガソリン車トップ^{*1}の低燃費

27.0 km/ℓ

10・15モード走行燃費(国土交通省審査値) X、X^{*} Limited^{*}、カスタムGの2WD車。



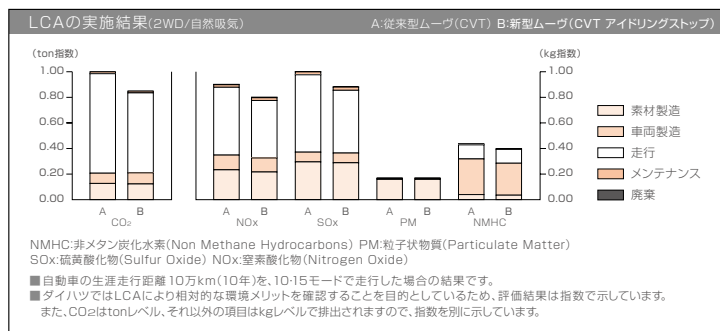
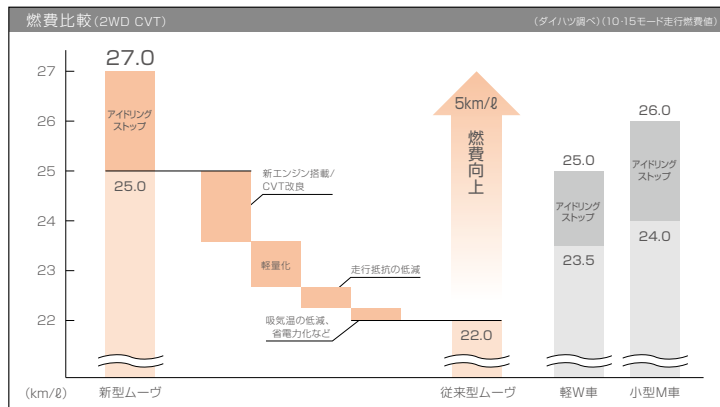
(X、X^{*} Limited^{*}、カスタムG)



(X、X^{*} Limited^{*}、カスタムG)

全ライフサイクルにおけるCO₂排出量を15%削減

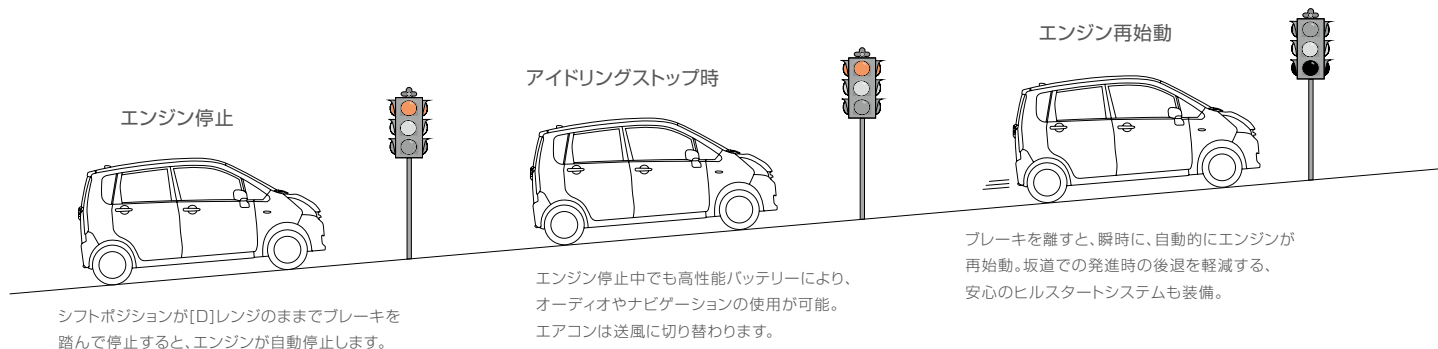
ダイハツではEco-VAS^{*5}を導入し、環境負荷物質、リサイクル、LCA^{*6}などの6つの環境目標を設定して開発を進めています。LCAでは、素材製造から生産、走行、廃棄に至るライフサイクルすべてにおけるエネルギー使用量やCO₂などの環境への排出を評価し、削減に努めています。



ガソリン車トップ^{*1}の低燃費に大きく寄与、新アイドリングストップシステム「eco IDLE」。搭載グレード数も拡大。 [X、X^{*} Limited^{*}、カスタムGに標準装備]

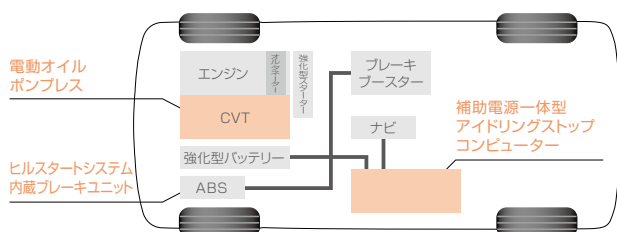


停車時に自動的にエンジンを停止し、ムダな燃料消費と排出ガス、騒音をゼロにするアイドリングストップシステム。ダイハツでは2002年の「ミラ」より、いち早く軽自動車に採用し、2006年には軽初のCVTとの組み合わせを実現。新型ムーブでは、より軽量化・コンパクト化を図った新システム「eco IDLE」を開発するとともに、搭載グレード数も拡大しました。



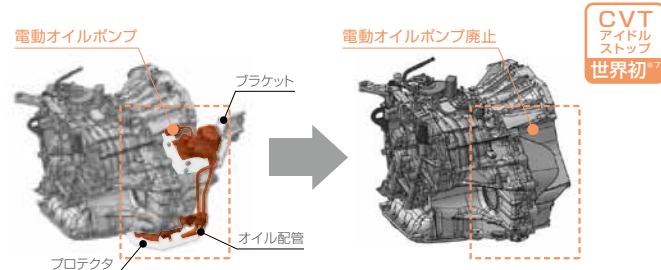
軽量・コンパクトな「eco IDLE」のシステム

国内初^{*7}となるエンジン再始動時のナビゲーションのリセットなどを防止する補助電源回路を組み込んだコンピューターや、電動オイルポンプを廃止したCVTなどで、軽量・コンパクト化を実現。専用の追加部品を最小化したシンプルなシステムです。



電動オイルポンプを廃止したCVT

ガソリン車CVTのアイドリングストップシステムでは世界初^{*7}の技術。新開発のCVT油圧制御やエンジンの早期始動制御により、電動オイルポンプを廃止し、発達性を確保。エンジン停止中の電力消費を抑えながら、軽量・コンパクト化を実現しました。



ガソリン車トップ※¹の低燃費27.0km/ℓ※²を実現。NA全車、エコカー減税※³に適合。

ダイハツの最量販車種として先頭を走りつづけるムーヴだからこそ、さらなる低燃費化が必要不可欠。エネルギー効率を徹底的に追求することにより、ガソリン車トップ※¹の低燃費を実現しました。

燃費性能をさらに進化させた「第2世代KFエンジン」。

パワー、燃費、低排出ガス、静粛性、すべてを高次元で実現した軽量・コンパクトなKFエンジン。現在のダイハツ車に幅広く搭載され、ご好評いただいているこのエンジンをベースに、一層の低燃費化を図りました。世界初※⁷のi-EGRシステムや、国内初※⁷の樹脂製電子スロットルボディによるエンジンとCVTとの協調制御を採用したほか、構成部品のひとつひとつを徹底的に見直し、燃焼効率の向上やメカニカルロスの低減を追求。優れた燃費性能を実現しました。

新開発「第2世代KFエンジン」の主な低燃費化技術

世界初※⁷ i-EGRシステム

排出ガスの一部を吸気側へ再循環させることで、吸気時に発生するポンピングロスを軽減させる従来のEGRシステムに、燃焼室内のイオンで燃焼状態を検出する「イオン電流燃焼制御」を組み合わせ、EGRガスを大量に送り込み、ポンピングロスを限界まで低減しました。

高効率化

吸気流動をより有効に活用できる燃焼室形状へ変更し、燃焼効率を向上。さらに、ピストン形状、オイルシール、チェーンなどを変更し、細部にわたりメカニカルロスを低減しました。

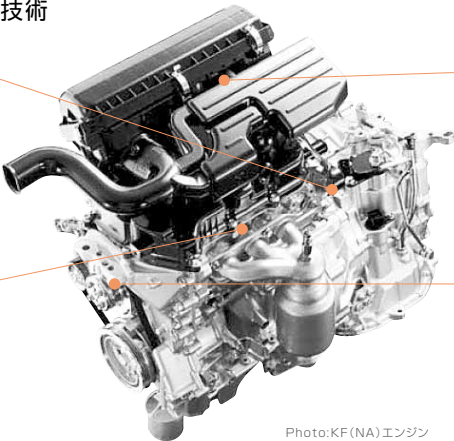


Photo:KF (NA) エンジン

国内初※⁷ 樹脂製電子スロットルボディ

樹脂製電子スロットルボディを国内で初めて採用※⁷。エンジンとCVTとの協調制御により、さまざまな運転状況に応じて最も効率のよい状態に制御します。

高効率ウォーターポンプ

樹脂製インペラーの採用によりポンプ効率を向上させ、より低トルクで必要流量を吐出させることを可能としました。

TOPAZ NEO

ツインカムDVVT3気筒12バルブエンジン

[カスタムRSを除く全車]

10・15モード走行燃費
(国土交通省審査値)
(L、カスタムX、カスタムX“Limited”の2WD車)

25.0km/ℓ

最高出力(ネット) 38kW[52PS]/7,200rpm

最大トルク(ネット) 60N・m[6.1kg・m]/4,000rpm



ツインカム3気筒12バルブ インタークーラーターボエンジン

[カスタムRS]

10・15モード走行燃費
(国土交通省審査値)
(2WD車)

22.0km/ℓ

最高出力(ネット) 47kW[64PS]/6,400rpm

最大トルク(ネット) 92N・m[9.4kg・m]/4,000rpm



低燃費とスムーズな加速を生むCVTを全車に採用

ダイハツ独自のインプットリダクション方式3軸ギヤトレーン構造を採用し、優れた伝達効率を実現。新開発エンジンにあわせた変速制御域の最適化も行い、優れた低燃費を実現しました。



約35kg※⁴の軽量化など、車体側の燃費対策も徹底。

燃費向上のためには、パワートレーンだけではなく、車体側での燃費対策も重要。車体の軽量化、走行抵抗の低減などで低燃費化を図りながら、優れた乗り心地や静粛性も両立しています。

約35kg※⁴の軽量化を実現

シェルボディの骨格合理化や、インストルメントパネルやドアトリムのスリム化、CVTユニットの軽量化をはじめ、ホイールやブレーキドラム、マフラーなど構成部品ひとつひとつを徹底的に見直し、従来型比約35kgもの軽量化を実現。低燃費化とともに、動力性能や操縦安定性・乗り心地を向上させました。

走行抵抗の低減

低転がり抵抗タイヤの採用や、ベアリングをはじめ駆動輪・従動輪の転がり抵抗を低減。また、ワンモーションシルエットの採用で、優れた空力性能も実現。これらにより、低燃費化に貢献しています。

電気負荷の低減

ストップランプ、ハイマウント・ストップランプに、省電力性に優れたLEDを採用。電力消費によるエネルギーロスを低減し、燃費の向上に貢献しています。

吸気温の低減

バンパー開口部やエアクリーナーダクトの最適配置、さらには導風経路を改善することで吸気温を低減。吸気の体積膨張による吸気量の減少を抑えて燃焼効率を高め、燃費向上に貢献しています。

エコドライブを分かりやすくサポートする先進装備。

燃費はドライバーの運転状況によって変化します。車両そのものの低燃費化はもちろん、ドライバーのより低燃費な運転をサポートすることで実際に運転した際の燃費(実用燃費)を向上させる先進機能を採用しました。

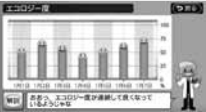
エコドライブを促す機能を多彩に備えたメモリーナビゲーションシステム [X“Limited”、カスタムX“Limited”に標準装備。カスタムG、カスタムRSにメーカーオプション]

運転状況を分析し、楽しく低燃費運転へ導く「エコ運転支援機能」

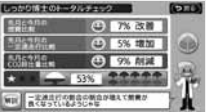
エコドライブに関わる運転中の多彩な情報を分かりやすく表示し、親しみやすいキャラクターがそれぞれについてやさしく解説やアドバイス。楽しみながらエコドライブのスキルが身につきます。



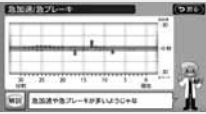
エコロジーチェック
さまざまな要素からエコロジー度を総合的に判定し、スコアを表示。



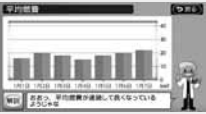
エコロジー度
日ごとのエコロジー度の変化をグラフで表示します。



しっかり博士のトータルチェック
今月と先月の各種データ比較からエコドライブのアドバイスをします。



急加速/急ブレーキ
急加速や急ブレーキの頻度を時系列で表示します。



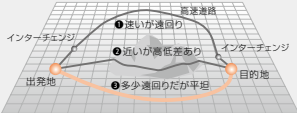
平均燃費
日ごとの平均燃費の変化をグラフで表示します。



CO₂排出量
月間のCO₂排出量をアイコンで表示します。

より少ない燃料で目的地に着ける道を案内する「省エネルート探索」

従来のルート探索(最短所要時間や最短距離)だけでなく、新たに「最小燃料消費量(CO₂排出量)」というエコの視点でのルート探索を可能にした機能です。目的地までの距離や推定走行時間、さらに道路の高低差も考慮し、複数ルートから最もCO₂排出量の少ない経路を案内します。



ecoドライブモード [X、X“Limited”、カスタムG、カスタムRSに標準装備]

スイッチをONにすれば、エコインジケーター、ecoリーフゲージの点灯条件を厳密にするとともに、エアコン(冷房)を制御し、燃費の向上に貢献します。



エコな運転をすると色が変化するブルーecoシグナルメーター

[カスタムRSに標準装備]

燃費効率のよい運転をしていると、メーター外周のエッジライトリングがホワイトからブルーに連続的に変化。その瞬間のエコドライブ度を直感的に知らせるとともに、プレミアム感のある光の演出を車内に広げます。



エコドライブをすると点灯、エコインジケーター

燃費効率のよい運転をしていると、メーター内で葉のアイコンが点灯。燃費を意識した運転を心がけることができます。



エコインジケーター

「ecoリーフゲージ」付のマルチインフォメーションディスプレイ

[Lを除く全車に標準装備]

燃費効率のよい運転をするほどに葉の形状が変化し、その瞬間のエコドライブ度を分かりやすく伝える「ecoリーフゲージ」のほか、切り替え操作により、平均燃費や航続可能距離、外気温を表示します。



アイドリングストップ時間表示機能

[X、X“Limited”、カスタムGに標準装備]

「eco IDLE」によりエンジンを自動停止している時間とその積算時間をマルチインフォメーションディスプレイ内に表示。効果を数字で伝えます。



アイドリングストップ時間

優れた低燃費を実現しながら、軽トップレベルの走行性能を実現。

軽トップレベルの加速性能を維持し、優れた低燃費を実現

新開発第2世代KFエンジンや動力伝達効率に優れたCVT、軽量化を果たしたボディ、走行抵抗の低減などにより、燃費性能を大幅に向上させながら優れた加速性能を実現しました。

0-200m発進加速比較 (NA 2WD)		(ダイハツ調べ)
新型ムーヴ	13.4	
従来型ムーヴ	13.4	
軽A型	13.7	
軽B型	14.2	(※)

※1:2010年12月13日現在。ハイブリッド車除く。ダイハツ調べ。 ※2:10・15モード走行燃費(国土交通省審査値)。X、X“Limited”、カスタムGの2WD車。 ※3:環境対応車普及促進税制。 ※4:従来型ムーヴ比。ダイハツ調べ。 ※5:Eco-VAS=Eco-Vehicle Assessment System(自動車環境総合評価システム)。 ※6:LCA=Life Cycle Assessment(ライフサイクル評価)。 ※7:2010年12月13日現在。ダイハツ調べ。

PACKAGE & COMFORT UTILITY

広い室内空間と優れた静粛性。広い視界も確保した快適パッケージ。

乗る人すべてが快適にくつろげる広い室内空間

ゆたかの室内長(2,075mm)や軽最大^{*1}の室内幅(1,350mm)、高い室内高(1,280mm)により、乗る人すべてがゆったりくつろげる広い室内空間を確保しました。

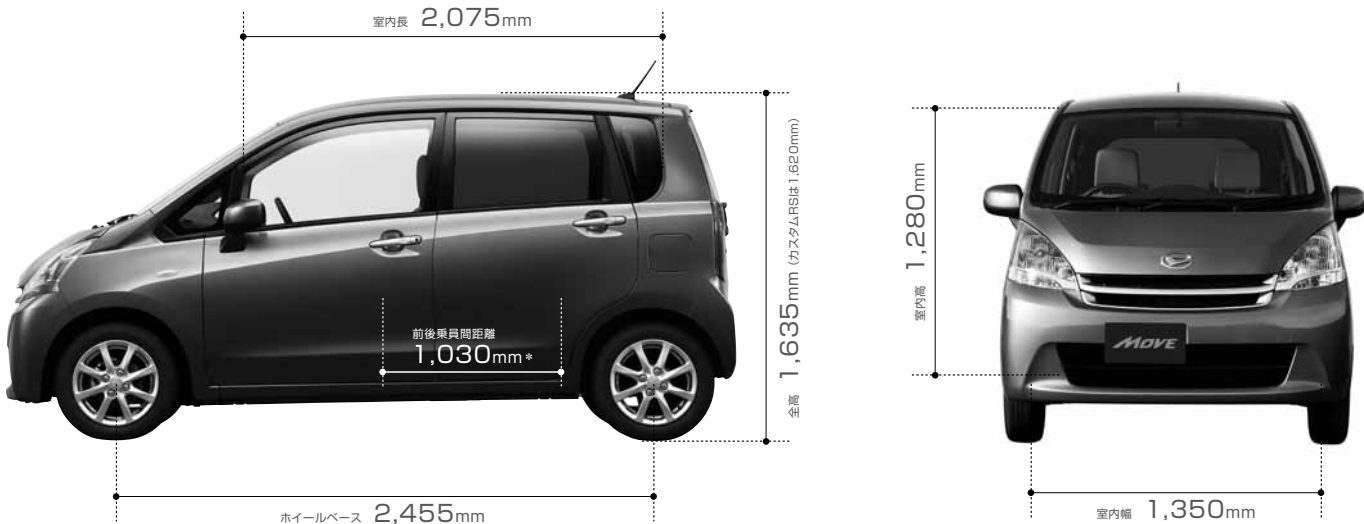
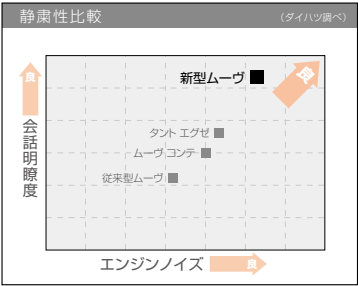


Photo:X Limited (2WD) *ダイハツ測定値。

軽トップ^{*1}、コンパクトカー並みの静粛性を実現

エンジン、CVT制御の改良により、加速時のエンジン回転の上昇を抑制。新形状のダッシュパネル・フロアパネルによるボディ発音量の低減、寄与解析に基づいた防音材の車室内最適配置など、数々の対策を施し、加速時のエンジンノイズや定常走行時の会話明瞭度を従来型に比べ大幅に改善。軽トップ^{*1}、コンパクトカー並みの静粛性を実現しました。

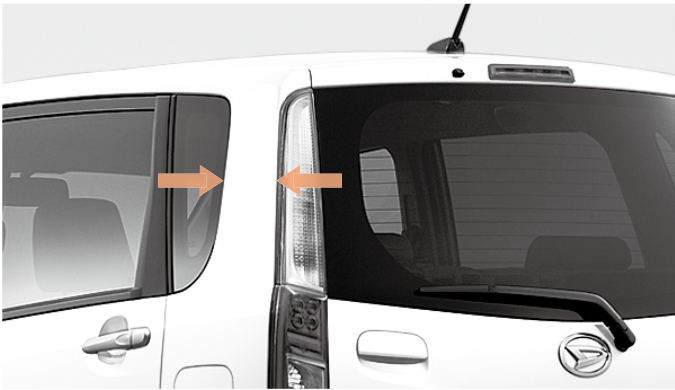


従来型ムーヴからの改良アイテム



運転しやすい広い視界

フロントピラーを細くするとともに、形状を工夫することで、死角を減らし、広い前方視界を確保。さらに、リヤピラーも細くすることで、後方視界も広がっています。



あらゆる利用シーンでゆとりをもたらし、優れた快適・便利性能。

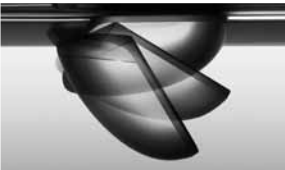
日常ユースやレジャー・旅行など多彩なシーンで、どなたにも安心・快適にお乗りいただけるよう、ベースとなる広さや静粛性、広い視界はも ちろん、乗る人がもっとラクに便利になる新開発の装備を積極的に採用しました。

スムーズに運転を始められる快適装備。

キーフリー運動機能付のオート格納式ドアミラー

[Lを除く全車に標準装備]

乗車時はエンジンスイッチの電源ACCに連動して自動的にドアミラーが開き、降車時にはキーフリーシステムのリクエストスイッチまたは携帯機によるドア施錠に連動して自動的に格納。降車直前まで後方の確認を行うことが可能となります。



プッシュボタンスタート

[Lを除く全車に標準装備]

電子カードキーを携帯していれば、ブレーキを踏みながらボタンを押すだけで、スマートにエンジンの始動が可能です。



乗る人に合わせてドライビングポジションが調整可能

運転席シートリフター [X*Limited*、カスタム全車に標準装備] シート高を手軽に調節できます。
チルトステアリング [X*Limited*、カスタムX*Limited*、カスタムG、カスタムRSに標準装備] ステアリングホイールの位置を上下方向に調節できます。
アジャスタブルショルダーベルトアンカー [X*Limited*、カスタム全車に標準装備] 運転席シートベルトの高さを調節でき、自然な装着感をもたらします。



快適・安心なドライブをもたらす装備。

軽初^{※1}「nanoe(ナノイー)」ディフューザー

[X*Limited*に標準装備。カスタム全車にメーカーオプション]

超微細な水につつまれた微粒子イオン「ナノイー」を室内に放出する機能を、軽初搭載^{※1}しました。

「nanoe(ナノイー)」技術とは — 空気中の水分を集めてできた水に含まれた微粒子イオンで、お肌や髪にやさしい弱酸性です。脱臭、花粉の抑制、および除菌に効果があります。(ナソニック電工(株)調べ)



●「nanoe」「ナノイー」および「nanoe」マークは「ナソニック電工(株)」の商標です。
■本機の効果は季節、周囲環境(湿度・湿度)、使用時間、個人によって異なります。
■ぜんそくの方は、使用をお控えください。
■肌や身体に異常を感じたら、すぐに使用を中止してください。

オートライト

[カスタムRSに標準装備]

周囲の明るさに応じてヘッドランプを自動的に点灯/消灯します。

縦列駐車や車庫入れを一段と容易に。

車両後方の死角を映し出すバックモニター付のメモリーナビゲーションシステム

[X*Limited*、カスタム X*Limited*に標準装備。カスタムG、カスタムRSにメーカーオプション]

シフトポジションを[R]にすると、高感度カラーバックカメラによる見やすいカラー画像で、車両真後ろの様子をナビ画面に映し出し、駐車をサポート。後進操作の参考になるガイドラインも表示し、一層安心感を高めます。また、メモリーナビゲーションシステムには、見やすく美しいタッチパネル式の7.0型ワイドVGAディスプレイを採用。さらに、エコ運転支援機能やワンセグTVなども採用し、快適・安心なドライブをサポートします。



- エコドライブを支援する「エコ運転支援機能」 「省エネルギー探索」
- ワンセグTVやAM/FMラジオ、CDステレオ内蔵
- デジタルオーディオ機器などが接続できるAUX端子付
- 車速連動ボリューム付
- VICS FM多重レシーバー付



バックカメラ

荷物の積み降ろしや乗り降りをスムーズに。

荷室側からも操作できるリヤシートスライド

リヤシートのシートバック裏側に、スライドレバーを設置。室内に移動することなく、荷室側からもシートをスライドでき、大きな荷物を積み降ろしにますます便利になりました。



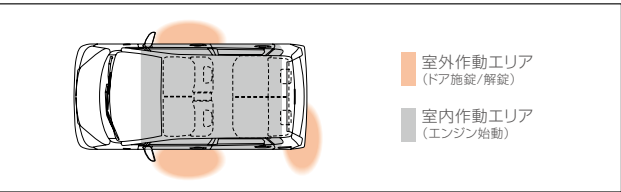
キーフリーシステム<イモビライザー機能付・リクエストスイッチ付(運転席/助手席/バックドア)>

[Lを除く全車に標準装備]

電子カードキーを携帯していれば、ドアハンドルやバックドアのリクエストスイッチを押すだけでドアの施錠と解錠が可能。荷物を抱えている時や夜間に便利です。また、エンジンの始動も、キーを使わずにボタン操作だけで行えます。さらに、電子カードキーがマスターキーがないとエンジンが始動しない、盗難防止に役立つイモビライザー機能付です。

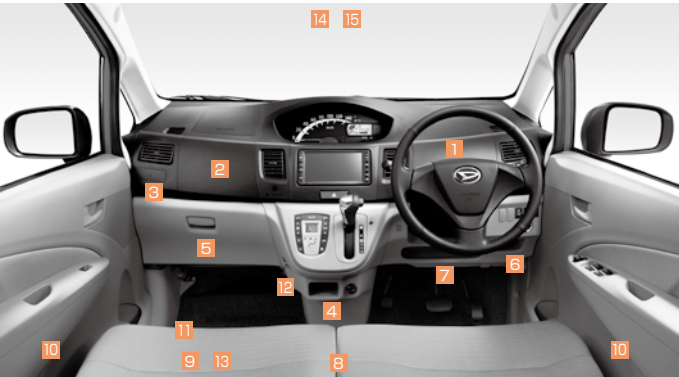
大容量深底ラゲージアンダーボックス(デッキード固定フック付)を全車に標準装備

デッキードを開けると現れる、荷室床下の収納。直径220mmのサッカーボール(5号球)が2個横積みできる容量を確保*。デッキードをはね上げれば、ベビーカーや植木など背の高い荷物も縦に積めます。*2WD車。



広い空間をさまざまに使える多彩なシートアレンジ

240mmスライドでき、左右分割してリクライニングおよび格納ができるリヤシートで、多彩なシートアレンジが可能。格納時にはシートクッションが沈み込み、広々としたフラット荷室となります。



POCKETS

使い勝手を高めた 充実のポケット類



※1:2010年12月13日現在。ダイハツ調べ。 ※2:インテリジェントドライビングアシストバックは2011年2月発売予定。 ■小物類は撮影のために用意したものです。

躍動感あるエクステリアと、洗練されたインテリア。

「ムーヴ」という車名に込めた、時代を動かしていく存在としての新しさやアクティブなライフスタイルを全身で表現。さらなる上質感を追求し、幅広い方々に「持つ喜び」をもたらすデザインとしました。

MOVE

広さとスタイリッシュさを両立した
躍動感あふれるルーミーワンモーションフォルム。



Photo: X Limited* (2WD)

ムーヴの特長である「ビッグキャビン&コンパクトノーズ」を強調した、流麗で躍動感のあるモノフォルムシルエット。ルーフ前端にピークを持たせて広さをより際立たせつつ、削ぎ面の硬質感と柔らかな面のぬくもりを調和させ、アクティブな先進感を表現しました。また、ヘッドランプからグリルに通した横方向のラインが、ワイド感を強調しています。



「すっきりモダンな上質・広びろ空間」がテーマの室内。インストルメントパネルの高さを抑えたほか、助手席の膝元を広げる反った形状のグローブボックスなど、室内全体に削ぎ面を効果的に施し、広さと使いやすさを徹底追求。横方向へ広がる伸びやかなラインでワイド感も表現しています。ページュをアクセントに効かせた個性的な2トーンインパネをはじめ、ページュで空間を統一。洗練されたくつろぎを演出しました。

BODY COLOR 心地よい先進性とモダンさを表現した全8色のボディカラー

■は新色、★はメーカーオプション。

シルキーマルーン クリスタル メタリック★	シャンパンゴールド メタリックII	ライトローズ マイカメタリック	アーバンナイト ブルークリスタル メタリック★	ブラックマイカ メタリック	ブライトシルバー メタリック	パールホワイトIII★	ホワイト
-----------------------------	----------------------	--------------------	-------------------------------	------------------	-------------------	-------------	------

MOVE
CUSTOM

精緻な質感表現を組み合わせ、
プレミアム感を際立たせたダイナミックフォルム。



Photo: [左]カスタムRS(4WD) [右]カスタムRS(2WD)

大開口のエアロバンパーや丸型4灯タイプのヘッドランプでカスタムらしい力強さを表現するとともに、厚みのあるフードやリヤスポイラー、サイドストーンガードによりマッシブで躍動感あるフォルムを実現。メッキ処理を施したフロントグリルや、軽初*のLEDイルミネーションを組み込んだディスチャージヘッドランプ、LEDストップランプなどにより、精緻な質感でプレミアムな印象を持つ、進化したカスタムデザインとしました。



室内全体をブラック基調としたうえで、インストルメントパネル、ステアリングホイールに施したヘアラインのシルバー加飾や、メッキ調リング付の自発光式メーターなどをアクセントとし、大人を満たすプレミアム感と精悍さを演出。さらに、ラメ糸を使用したカスタム専用シート表皮を採用し、先進感・上質感を表現しました。

BODY COLOR 押し出しの強さと上質感を求めた全7色のボディカラー

■は新色、★はメーカーオプション。

スパークリング オレンジクリスタル メタリック★	シルキーマルーン クリスタル メタリック★	ブロンズオリーブ パールメタリック★	アーバンナイト ブルークリスタル メタリック★	ブラックマイカ メタリック	ブライトシルバー メタリック	パールホワイトIII★
--------------------------------	-----------------------------	-----------------------	-------------------------------	------------------	-------------------	-------------

先進のアクティブセーフティによる優れた安全性能。

コンパクトで、人々に身近なクルマだからこそ、安全性を徹底追求。衝突時に乗員の安全を確保するパッシブセーフティはもちろん、事故を未然に防ぐアクティブセーフティを充実させています。

ACTIVE SAFETY 「プリクラッシュセーフティ」も採用した、先進のアクティブセーフティ。

追突の危険を予測し、リスク低減を図るプリクラッシュセーフティ [カスタムRS 2WDに「インテリジェントドライビングアシストパック[®]」としてメーカーオプション]

交通事故のうち最も件数の多い追突事故に対して、先進技術によってその危険を予測して回避に努め、万一の際には被害を最小限に抑える。2006年のムーヴ・シリーズで軽自動車として初めて採用したこの「プリクラッシュセーフティ」のシステムを、今回も採用しました。レーザーレーダーとカメラの画像処理を融合させたセンサーフュージョン技術により、先行車を高い精度で認識。車間距離が短くなりドライバーによる回避操作が必要な場合は音・表示とシートベルトの引き込みで警報し、さらに危険度に応じてブレーキとシートベルトも自動制御。ドライバーの操作を支援しながら、積極的にリスクの軽減を図ります。



車線からの逸脱事故を防止する車線逸脱警報機能 [カスタムRS 2WDに「インテリジェントドライビングアシストパック[®]」としてメーカーオプション]

脇見運転などによる車線からの逸脱がもたらす事故を防止する機能。プリクラッシュセーフティの技術を活かし、走行中に車線を監視。ドライバーが脇見や居眠りなどで車線から逸脱しかけた時に、音と表示でドライバーに警報し、注意を促します。

車両の挙動を安定化するVSC
(ビークル・スタビリティ・コントロール)

[カスタムRS 2WDに「インテリジェントドライビングアシストパック[®]」としてメーカーオプション。VSC単独のメーカーオプションはカスタムRSに設定]

全車に標準装備した、ブレーキ時の車輪ロックを防ぐABS (EBD&メカニカル2段アシスト機能付)に加え、加速時などでの駆動輪のスリップを防ぐTRC、旋回時の横滑り制御を組み合わせたVSCを採用。急なハンドル操作や滑りやすい路面での旋回時にも、車両安定性を確保します。

■プリクラッシュセーフティは、コンピューターにより衝突不可避と判断された場合に作動します。衝突がない場合でも、衝突の可能性が高い場合は作動することがあります。また、システムの衝突判断性能には限界があります。悪天候時など作動しない場合がありますので、装置を過信せず、安全運転をお願いします。■車線逸脱警報機能は、車線の状況や悪天候時など作動しない場合がありますので、装置を過信せず、安全運転をお願いします。■VSCは、タイヤ性能の限界を超えた状態では制御できません。

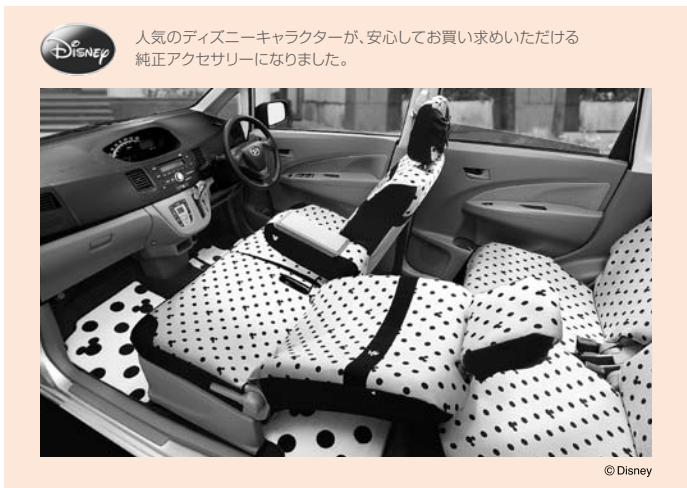
※インテリジェントドライビングアシストパックは2011年2月発売予定。

ACCESSORY

新「SPORZA」から「ディズニー」まで、魅力的なアイテムが勢揃い！



新型ムーヴのために、純正エアロブランド新「SPORZA」誕生。ムーヴ カスタムのイメージをさらに高めず。



人気のディズニーキャラクターが、安心して買い求めいただける純正アクセサリになりました。

© Disney

PASSIVE SAFETY 世界基準をめざし、現実の事故実態も踏まえて高めたパッシブセーフティ。

TAF 進化した衝突安全ボディ<TAF(タフ)>を採用。軽量化と高い衝突安全性能を両立

●TAFは、Total Advanced Functionボディの略で、総合的に衝突安全機能が進化したボディという意味の造語です。

衝突安全ボディ

フロントサイドメンバーの高効率衝撃吸収構造と衝撃モーメントキャンセル構造により、衝突エネルギーを効率的に吸収・分散。また最適化・合理化をきわめたボディ骨格により、軽量化を果たしつつ衝撃吸収性能の向上や強固なキャビンを実現しています。



■：前面衝突 ■：側面衝突

Photo:衝突安全ボディ(TAF)。■写真は補強箇所を説明するために合成、着色したものです。

クルマ対クルマの衝突安全性能を追求

国内・欧州の衝突安全基準を余裕を持ってクリアしたうえ、世界で実施されている厳しい試験法を取り入れた衝突実験でも十分な生存空間を確保。さらに、自転車よりも重い乗用車を相手車両として実際の事故にきわめて近い「クルマ対クルマ」の衝突実験も行い、高い衝突安全性能をめざしています。

歩行者傷害軽減ボディ

万一の対人事故の際、歩行者の傷害を軽減するため、ボディ前部の各所に衝撃緩和装置・吸収スペースを設けることで歩行者保護性能をより高めています。



50km/hクルマ対クルマ前面衝突実験



50km/hクルマ対クルマ側面衝突実験

SOFI 乗員にやさしい安全インテリア<SOFI(ソフィ)>

●SOFIは、Safety-Oriented Friendly Interiorの略で、乗員にやさしく、より安全なインテリアを表した造語です。

セーフティパック [カスタムGを除くカスタム全車にメーカーオプション]

車両側方からの衝突に対して、前席乗員の胸部および前後席乗員の頭部側面を覆うように広がり、乗員への衝撃を緩和するSRSサイドエアバッグ(運転席/助手席)&SRSカーテンシールドエアバッグ(前後席)と、前方からの強い衝撃を感知すると、肩ベルト側・腰ベルト側双方のシートベルトを瞬時に巻き取り、乗員の拘束効果を高めるダブルプリテンショナー機構を採用したダブルプリテンショナー&フォースリミッター機構付フロント3点式ELRシートベルト(運転席)をセット。より高い安全性を実現しました。

その他のパッシブセーフティ

- デュアルSRSエアバッグ ●プリテンショナー&フォースリミッター機構付フロント3点式ELRシートベルト ●リヤ3点式ELRシートベルト
- ISO-FIX対応チャイルドシート固定バー&トップテザーアンカー(後席)
- 衝撃吸収ステアリング ●ヘッドインパクトプロテクション

FRIENDSHIP SERIES

乗り降りに、やさしさをプラス。福祉車両「ムーヴ フロントシートリフト」も設定。

2011年2月発売予定

狭い路地にも乗り入れられるコンパクトボディ、優れた経済性、運転のしやすさなどが評価されニーズの高い軽福祉車両。ダイハツは其中で約50%のシェア^{※1}を獲得。多くの方にご支持いただいています。



Photo:ムーヴ フロントシートリフトX

助手席が電動で回転、昇降し、乗り降りをサポートするムーヴ フロントシートリフト。

約90度まで開くフロントドアによる広い開口スペースにスイッチひとつで助手席が自動的に回転・昇降する電動式リフト機構を採用しました。

L・Xの2グレード^{※2}を設定。Xグレードには、eco IDLEやecoドライブモードを採用し、低燃費で環境にやさしい仕様としています。

※1:2009年度一般社団法人日本自動車工業会統計データを基にダイハツ調べ。※2:Xグレード設定は2WDのみ。

メーカー希望小売価格（消費税込み）

シリーズ	グレード	トランスミッション	エンジン	アイドリングストップ	駆動	価格(単位:円)	減税レベル
ムーヴ	L	CVT	NA車	—	2WD	1,120,000	75%軽減
					4WD	1,241,000	75%軽減
	X			○	2WD	1,220,000	75%軽減
					4WD	1,341,000	75%軽減
	X“Limited”				2WD	1,320,000	75%軽減
					4WD	1,441,000	75%軽減
ムーヴ カスタム	カスタムX	CVT	NA車	—	2WD	1,310,000	75%軽減
					4WD	1,431,000	75%軽減
	○				2WD	1,420,000	75%軽減
					4WD	1,541,000	75%軽減
				カスタムG	2WD	1,400,000	75%軽減
					4WD	1,521,000	75%軽減
	カスタムRS	TC車	—	2WD	1,490,000	—	
				4WD	1,611,000	—	

●北海道地区の2WD車は10,500円高（税込み）。価格にはリサイクル料金は含まれません。

ダイハツ工業株式会社

本社:〒563-8651 大阪府池田市ダイハツ町1番1号
東京支社:〒105-0004 東京都港区新橋6丁目19番15号

本冊子に関するお問い合わせは 広報・渉外部 広報室へ
TEL〈東京〉03(6430)8854 〈大阪〉072(754)3047
URL: <http://www.daihatsu.co.jp>

2010年12月発行